

4 ずてるのはもったいない。

捨

五、次の□の中に、下のらんから、かなを一つ選んで書き入れなさい。

1 おきさまを、むか□に行く。

2 きめたと□りにしよう。

3 もつと、つ□けて書きなさい。

4 □めんじ、花の種をまいた。

ず ・ え ・ つ

い ・ じ ・ へ

お ・ お ・ う

— や め —

2

一、次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

良平はたったひとり、ひる過ぎの工事場にたずみながら、土を積んだトロッコの来るのをながめていた。すると、まくら木を積んだトロッコが一りよう、これは本線になるはずの、太い線路を登って来た。このトロッコを押しているのは、ふたりともわかい男だった。良平は、かれらを見た時から、なんだか親しみやすいような気がした。「この人たちならば、しかられない」——かれはそう思いながら、トロッコのそばへかけて行って声をかけた。

「おじさん、押してやろうか。」

その中のひとり——しまのシャツを着ている男は、うつ向きにトロッコを押したまま、思ったとおり、快いへんじをした。

1 かれらとは、だれのことですか。

2 かれとは、だれのことですか。

3 思ったとおりとは、だれが思ったのですか。

4 だれが、快いへんじをしたのですか。